

斉藤教授らを証人に

新潟水俣
病井護団

田宮委の結論逆転か

【新潟】阿賀野川有機水銀中毒事件（新潟水俣病）裁判の原告被
災者側弁護団（渡辺晋八団長）
が、新潟地裁民事部に出していた
日本化学工業協会の下部機関「田
宮委員会」のメンバーだった斉藤
守東大医学研究所、大八木義彦
千葉大医学部助教授の証人申請が
二十五日受理された。

両証人は二十日の三十八回口頭
弁論で、原告側が八人の熊本水俣
病関係者とともに証人申請して注
目を浴びたが、宮崎啓一裁判長
は、両氏が大学入試などで忙しく
なることが予想され「時期が問題
だ」として留保していた。

両証人は三月一日午前十時から
東京地裁で聞かれる出張尋問で、
原告側の主尋問を受け、三月九日
から十一日までの間に新潟地裁で
被告側との反対尋問を受ける。

原告弁護団はこの両証人の証言
によって、被告側証人の大島竹治
日化協専務理事が「当時の田宮委
員会は結論は出なかった」という
証言をくつがえして、同委員会が
「水俣病の原因は新日本窒素（現
チッソ）水俣工場の廢液（有機水

銀）によるもの」との結論を出し
ていたことを明らかにし、この姿
員会と接触があったとみられる新
日本窒素と、昭和電工の首脳部が
その結論を知っていた「など」立
証出来るとしている。